

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日

平成24年2月24日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3492700038		
法人名	株式会社 富山学園		
事業所名	ほのぼの苑 廿日市東		
所在地	広島県廿日市市桜尾本町3番21号 (電話) 0829-34-3800		
自己評価作成日	平成24年1月23日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=3492700038&SCD=320&PCD=34
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	平成24年2月15日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>家庭的な雰囲気の中で喜怒哀楽を共に実感していただけるように、スタッフ一同、知恵を出し合い、力を合せて「笑顔の絶えない明るい施設」であり続けられるよう頑張っています。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>「笑顔の絶えない施設」でありたいとの思いから、職員は笑顔で接するように努め、職員は個人の年間目標を立て取り組んでいる。入居者に明るい雰囲気で過ごして頂きたいと、書道・フラワーアレンジメント・粘土細工などのレクリエーションを充実させ、入居者に楽しんでもらっている。また、月に1回程度はボランティアによる催し物が行われている。週に1回のスーパーへの買い物外出を行い入居者に好評である。また、災害時に職員があわてた行動をしないようにとの配慮から、毎月テーマを決めた避難訓練や、入居者と職員が1対1で行う夜間避難誘導の実施など、災害に備えた訓練を行っている。</p>
--

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	理念は「その人らしく最高に生きていただく」と年間目標を設定してスタッフルームに掲げ、朝の引継ぎ時に、唱和し共有して実践している。	事業所の理念とは別に「笑顔の絶えない明るい施設」という努力目標を全職員で決めて、努力している。それを実践するために、職員個人の年間目標を立て、半年に1回の振り返り・評価をする事している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	地区の一斉清掃や保育園の行事（ひなまつり・運動会）にも参加している。町内会長、民生委員、老人会会長の運営会議に出席。	町内会に加入し、一斉清掃に職員が協力し有料ゴミ回収にも協力している。地域の運動会や保育園の行事に入居者が職員と共に参加し交流を深めている。今後は地域の幼稚園の園児にホームに来てもらい交流をしたいと考えている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	毎週土曜日、近隣のスーパーへ送迎つきで買い物に出掛けている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実績、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	2ヶ月毎の運営推進会議では、外部からの講師を招いての勉強会や意見交換を設けて、サービス向上に活かしている。	2か月に1回開催される運営推進会議には、利用者家族全員に案内を送り、毎回多くの方が参加している。また、地域代表に関しては、近隣町内会長の提案により、近くの町内会から交代で参加し、毎回の運営推進会議では活発な意見交換がされている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	介護相談員の受け入れや、地域包括支援センターとも連絡を取り合っている。また、高齢介護課にはサービスの状況、取組み等の報告を行っている。	市の取り組みである「介護相談員」を受け入れており、月に1回訪問し入居者の話を聞いてもらい市の事業に協力している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	職員研修等で身体拘束をしないケアの実践に取り組んでいる。危険を伴い、玄関は施錠を行っているが、季節に応じては開放している。	年に1回法人の職員研修で「身体拘束をしないケア」の講習が行われ、職員が交代で出席し熱心に取り組んでいる。車いす利用の入居者が、長時間車いすに座りリビングで過ごすのは、身体拘束であると考え、午前と午後に居室で休息してもらうように取り組んでいる。		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている。</p>	研修等で虐待について理解を深め、虐待のないケアに努めている。			
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	認知症実践者研修で勉強する機会がある。入居者の中に制度を利用されている方もいる。			
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	文書と口頭で十分な説明を行い、理解・ご納得された上で契約している。			
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	家族会、アンケート等で反映出来るように努めている。	年に1回家族アンケートを行いサービス改善につなげている。年に2回行われる家族会では、あまり意見が出ないが、面会時には家族と話をするようにし、要望があればスタッフ会議で共有し、対応するようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	毎月1回合同でスタッフ会議を開き、意見交換を行いながら改善に努めている。	月に1回行われるスタッフ会議で意見交換をし改善に努めている。職員の意見から、週に1回のスーパーへの買い物外出や職員による書道教室を実施している。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	ユニット毎の配置ではなく、全職員が馴染みになるため信頼関係が作られるように心掛けている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	月1回の職員研修会に、レベルアップを図るため合同で行っている。認知症に関する勉強会にも積極的に参加している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	他事業所の施設見学も行っており、意見交換や情報の収集・交流を計っている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	傾聴・観察を充分行い、安心して過ごしていただけるように、必要な情報は職員に周知を図っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。	家族の思いや意見・要望を汲み取り、信頼感を持って相談ができる関係作りと、面会時にも日常の様子を詳しく伝えている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。	ご家族・ケアマネとの話し合いの中で、観察を充分に行い、本人が安心して過ごせるように対応に努めている。状況によっては、より良い選択が出来るように助言している。		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。	月2回の書道教室で文字を書く喜びと、共に暮らすという意識で一緒に過ごす時間を大切に、また、能力を見極め生活面で発揮出来るよう努めている。		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。	ご家族宛に近況報告や行事、広報誌等、また、面会時に生活の様子や意向を伝えていくことで信頼関係を築いている。家族会を行い交流を図っている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	近所の人や友人の面会時には、会話が出来るように配慮し、今後も関係が続くよう支援に努めている。	馴染みの人や場所の関係継続では、入居者の要望を職員が家族に連絡をし、友人・知人の訪問などが継続的に実現するように支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	同じ目的で作品作りや、書道・歌集の合唱等に取り組んでいる。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	退所された後でも、ご家族に近況を聞いたり、相談にのれるよう努めている。		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いやりや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	一人ひとりの状況や意向の把握に努め、出来ることを介護計画に取り入れ実践している。	入居者が精神的に不安定な状態になった際には、入居者のそばに寄り添い、じっくりと話に耳を傾け入居者の思いをくみ取り、入居者が安心して生活できるように配慮している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	入所時に今までの生活歴等について情報収集を行い、日々の生活の中から状況を把握するよう努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	一人ひとりの有する力等を把握し、役割づくり等の援助を行っている。本人様のペースで生活して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>定期的カンファレンスを行い、ケアプランを見直し、現状に添ったケアに努めている。</p> <p>ご本人、ご家族のニーズを聞き取り、ケアプランに盛り込んでいる。</p>	<p>「ケアプランのサービス内容」の項目ごとの実施状況を職員が毎日記録し、職員全員でチェックすることにより、入居者のモニタリングを行っている。また、実施できていない項目については、ケアプランの見直しを行うようにしている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>一人ひとりの行動記録があり、状態やケア内容、気づき等を記入し、情報を共有しながらケアプランやモニタリングに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>訪問理美容サービス、希望者にマッサージも活用している。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>毎週1回、入居者とスタッフが一緒に近くのスーパーに買い物に出掛けている。デイサービスを利用している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診診断</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>毎月1回、往診体制で連携を図っている。</p> <p>治療の必要がある場合、家族の同意を得てから受診している。</p>	<p>ホームの協力医が、月に1回往診し、入居者の状況を把握し、入居者に変化があれば、看護師が医師に連絡をし対応するようにしている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	看護師2名の交代勤務で24時間体制（オンコール）にし、いつでも連絡がとれるような体制にしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	往診のDr.を通じて入院先は確保出来ている。入院中はスタッフが度々面会に行き、状況や情報を把握している。退院の方向性などについても話し合っている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	終末に対する対応としては、指針を定め、協力医と連携をとりながら事業所が対応できる最大の支援方法を踏まえて方針をチームで話し合っている。	重度化した場合の対応は、医療依存度が高い方については、協力医と相談し、他の施設に移って頂くようにし、医療依存度が低い方については、家族と連絡を密に取り、対応するようにしている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	緊急時マニュアルを整備しており、状況に応じて医師に連絡		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	定期的に訓練を実施し、通報システムの確認を行っている。運営推進会議での地域への協力も呼びかけている。地区の防災訓練にも同時に訓練を実施している。	夜間に災害が起きた場合に、職員があわてた対応をしないように、月初めの1週間は、夜勤者が入居者と1対1で避難誘導訓練を行い、また、月に1回はテーマを決めて避難訓練を実施している。	防災担当も決め、きめ細かい避難訓練を実施されているが、毎月行われている避難訓練に対して、スタッフ会議で評価をし、反省点を次回の避難訓練に活かすような取り組みを行い、災害に備えて頂きたい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者の人格を尊重し、日常会話では敬語で接するように心掛けている。	利用者の人格を尊重し、敬語で話すようにしている。また、プライバシー尊重では、入浴時、衣服を脱ぐ際には、対話により納得してもらい脱衣するようしたり、トイレ誘導の際には他人に聞こえないように声かけをするなどの配慮をしている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	ご本人の意志に極力そえるように配慮している。署名の出来る方には説明して署名をお願いしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	一人ひとりの体調に配慮しながら、その日、その時の本人の気持ちを尊重して、出来るだけ個別性のある支援とペースに合わせた支援を行っている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	利用者の希望に沿って衣類を選んで頂いているが、意思表示できない利用者には声掛けしながら選んでいる。理美容でカットをしていただいている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	偏食や禁食は代替のものを提供している。季節や年中行事のメニューも取り入れられたり、野菜の皮むき等も利用者の能力に合わせてながら実施している。食器洗浄やお盆拭きもお願いしている。	毎月1回、入居者の好きな「寿司の日」とし、ちらし寿司や巻き寿司など種類の異なった寿司を楽しんでもらっている。また、年に1-2回は回転すしの外食に出かけたり、お好み焼きの出前を取るなどし、食事を楽しむ取り組みをしている	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス，水分量が一日を通じて確保できるよう，一人ひとりの状態や力，習慣に応じた支援をしている。	一人ひとりの状態を把握して，食事摂取量や水分量は記録し，レベルに合わせて食べやすい形態を工夫している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように，毎食後，一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	一人ひとりの状態を把握して毎食後，口腔ケア支援を実施している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし，一人ひとりの力や排泄のパターン，習慣を活かして，トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排尿記録からパターンを把握して，声掛けにより誘導している。日中は，パンツ＋パッドで対応している。	入居者の排泄パターンを把握し，車いすの人には介助し，自立歩行の方には声かけをして，トイレ誘導を行い，日中はおむつをしない取り組みを行っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し，飲食物の工夫や運動への働きかけ等，個々に応じた予防に取り組んでいる。	その人に合ったコントロールをしている。 水分摂取量のチェックや腹部マッサージ，体操を取り組む。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように，職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに，個々に応じた入浴の支援をしている。	プライバシーや羞恥心に配慮しながら，本人のペースで入浴の支援をしている。その時の体調を観察しながら安全に入浴出来るよう，介助人やリフト浴を使用。	入浴の前には必ずバイタルチェックを行い安全に入浴してもらうようにし，羞恥心の強い方には，言葉かけをして安心して入浴できるように配慮している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	一人ひとりの状態に合わせて生活のリズムを整えるように工夫しながら支援している。		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	服薬の管理の徹底と確認の徹底と病状変化の早期発見に努めている。		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	菜園、書道、フラワーアレンジメント等個々の楽しみに合った事を支援している。		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	季節に応じて散歩を実施している。家族との外出も行われている。	天候の良い季節には、毎日散歩に行くようにし、協力医までの受診には歩いて行き、外出を楽しんでもらうようにしている。また週に1回はスーパーへの買い物外出を行い入居者に楽しんでもらっている。	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	苑の方で管理している。預かり金のお納は、毎月明細を送付している。買い物に出掛ける時は、本人管理でおやつ購入して頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。	ご家族の承諾を得て、電話をしたり、取り次いだりしている。		
52	19	○居心地の良い共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。	観葉植物や廊下には絵画の額を展示、玄関には利用者の作品を展示したりしている。	玄関やホールの壁には入居者の作品を展示したり雛人形を飾ったりと、入居者や家族が楽しんで頂けるように配慮している。また、屋上菜園では季節の野菜を作り、入居者に楽しんでもらっている。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。	ホールで自由に過ごされる事が多い。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。	自宅から持ち込まれたタンスや小物入れ等が置かれ、粘土細工等作られた物が飾られ、居室に変化が見られる。	入居者が長年使われていたお琴を持参されたり、今まで使用していた家具を持ち込み安らげるような居室にし、レクリエーションで作ったフラワーアレンジメントを居室に飾り楽しんで頂いている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。	手すりやブザーの設置や夜間Pトイレを使用したりして、安全対策には工夫している。 屋上に菜園を作り、家庭菜園を楽しみ、また、食事の出された時の喜びを皆で楽しんでいる。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○ ①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○ ①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○ ①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている	○ ①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係やとのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	○	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 ほのぼの苑 廿日市東

作成日 平成24年4月10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1		地域が閉鎖的で関わりが少ない	前年よりは地域の方と話す機会は増えたがより密になること。	苑での行事にも積極的に参加していただけるよう働きかける。	1年間
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には, 自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は, 行を追加すること。